

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：角・奈良井]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和元年度 病害虫発生予察情報 技術情報第4号

令和元年7月19日

島根県病害虫防除所

水稻におけるトビイロウンカの発生状況について

7月中旬の巡回調査において、トビイロウンカの発生ほ場率は平年よりも高く、また一部では捕獲虫数の多いほ場も認められました。現地では発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 現在の発生状況

- 1) 7月11～12日の巡回調査（粘着板による払い落とし）において、トビイロウンカの発生ほ場率は13.0%（平年1.9%）、平均捕獲虫数は3.0頭/50株（平年0.04頭）と発生ほ場率、捕獲虫数とも平年に比べて多く、過去10年間で最も多くなっている。（図1）
- 2) 捕獲虫数は、ほ場間でやや異なり、地域的には県東部に比べて県西部で多い。
- 3) 中国地方1か月予報（広島地方气象台7月18日発表）によると、8月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

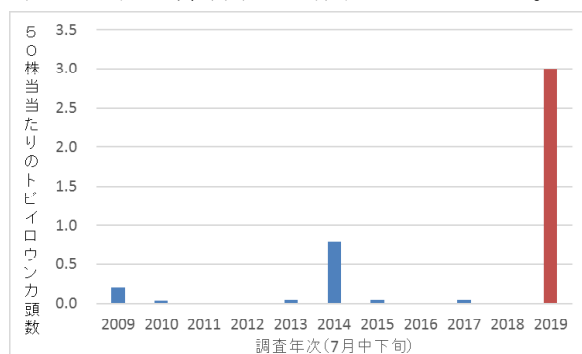


図1 過去10年間のトビイロウンカ捕獲虫数
(7月中下旬)



図2 トビイロウンカ成幼虫

2. 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 現在ほ場で確認される幼虫は第1世代幼虫と推定され、第2世代幼虫の発生時期は8月上旬～中旬と考えられる。
- 2) 薬剤散布は第1世代幼虫期に行う。その後は発生状況に応じて第2世代若中齢幼虫期を重点に散布する。
- 3) 第2世代若中齢幼虫期の防除は第1世代老齢幼虫～成虫期（7月下旬～8月上旬）に成幼虫が1株当たり1頭程度以上であれば必要である。
- 4) 発生状況の確認に当たっては本種の生息場所である株元をよく観察する。
- 5) 薬剤の使用に当たっては、農薬の使用基準ならびに農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。